

明道中学校だより

自啓・互敬・明朗 3月号

平成31年3月20日

卒業式にて

校長 北川裕之

3月12日(火)に卒業式を実施しました。ご出席いただきましたご家庭の皆様、大変ありがとうございました。日頃の明道中学校の教育の一端をご覧いただく機会でありました。厳粛な中に、大きな歌声、思いが伝わる送辞・答辞など、来賓の方からはすばらしい卒業式であったと、お褒めの言葉をいただきました。

校長式辞では、卒業生へのはなむけとして3つのことを話しました。これは、私自身が日頃大切に思っていることであり、卒業生のみならず在校生の皆さんにとっても大切に思っしてほしいことで、改めて伝えさせていただきます。

1つ目は、自分が叶えたいと思っていることに対して、「決して諦めず、その気持ちを持ち続けることが大切である」ということ。かつて南アフリカ共和国では、アパルトヘイトと呼ばれる、人種差別政策が行われていましたが、黒人が政治に参加できるように社会運動を起こし、世の中の仕組みを変えることに努力した功績から、のちにノーベル平和賞を受賞し、最終的には自身が選挙で大統領となったネルソンマンデラ氏は、こう語っています。「生きる上で最も偉大な栄光は、決して転ばないことにあるのではない。転ぶたびに、起き上がり続けることにある」と。失敗のない人生はありません。多くの失敗を乗り越えて前に進める人になってください。

2つ目は、「おはようございます。」「ありがとうございました。」の2つの言葉をいつでも自然に言えることが大切であるということ。世の中に出たときには、多少の能力や実績の差よりも、人と、よいコミュニケーションをとれることの方が大切になります。その際、あいさつや感謝の言葉は、最も基本的な言葉であり、大切な言葉です。あいさつは、相手の心を開かせることにつながりますが、何よりあいさつをする人自身の心を開きます。私自身、毎日生徒玄関に立ち、この一年間で五万回以上、皆さんとあいさつを交わしてきたのもこうした思いからで、目と目を合わせて明るい笑顔であいさつすることをこれからも続けてほしいと思います。これについては、3月14日(木)に行われた生徒会役員立会演説会で、多くの立候補者から、「積極的にあいさつ運動を行いたい。」との表明があり、とても嬉しかったです。

3つ目は、出会いを大切にしたいということです。人との出会い、物事との出会い、本との出会い、様々な出会いが待っています。そうした出会いは皆さんの人生を豊かにしてくれます。色々なことにチャレンジし、多くの体験をしてほしいと思います。

卒業生の皆さんには、限りない前途を祝福し、今後の一層の成長を祈念します。また、在校生の皆さんは、1学年進級します。一段と成長してくれることを楽しみにしています。

保護者、地域の皆様には、本校の教育に一年間ご支援、ご協力いただきありがとうございました。そして、来年度につきましてもよろしくお願い致します。



4月の行事予定 (変更があるかもしれません)

8日 新任式、始業式、入学式準備
9日 入学式
10日 認証式、対面式、町内生徒会
11日 部活動オリエンテーション身体計測、写真撮影
17日 校医検診(1年)、歯科検診(2年)

18日 全国学力学習状況調査(3年)確認テスト(1・2年)
20日～ 地区春季強化大会
24日～ 校医検診(1年)、歯科検診(3年)放課後活動定休日
25日 リーダー研修会、校医検診(3年)
26日 開校記念式典・表彰伝達

今年度を振り返って

学校評価について ～学校評価アンケート結果より～

スクールプランの1つ目の柱「確かな学力の育成」については、「授業に主体的に取り組んでいる」と答えた生徒90%、「自分は、わかりやすい授業づくりを心掛けている」と答えた教職員100%で、ともに目標の90%を超え、授業に意欲的に取り組んでいることが分かります。

「授業中、先生の話や友達の意見を聞き、自分の考えを深めたり、広げたりしている」と答えた生徒は87%で、目標の90%に達していません。話し合い活動など言語活動を充実させ、他とつながりながら生徒が主体的に取り組む授業を工夫していく必要があります。

2つ目の柱「豊かな心と自己啓発力の育成」については、「学校が楽しい」と答えている生徒93%で、目標の90%を超え、昨年度の88%より改善しています。「自分は、ネットなどのSNSの利用のルールを守ることができている」と答えた生徒は97%で、目標の90%を達成しています。各生徒がいっそう意識を高められるよう、今後、SNSの利用ルールについて生徒が主体的に考える場をもちたいと思います。「友だちは、自分の良い点やがんばっていることを認めてくれる」と答えた生徒は93%で、目標の95%には届いていません。ST（帰りの会）などを活用し、互いのよさを認め合う場面を多く設定していこうと思います。

3つ目の柱「信頼される学校」では、「先生たちは、質問や相談すると丁寧に対応してくれる」と答えた生徒92%で、目標の90%を超えています。「学校は教育方針や教育内容を適切に伝えている」と答えた保護者は91%で、目標の90%を超えています。今後とも信頼される学校を目指し、家庭・地域と学校の連携を深めていきたいと思います。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果を今後の教育活動の改善に生かしていきたいと思います。なお、アンケートのすべての結果とスクールプランは、本校のホームページに掲載しますので、ご覧ください。

全国学力調査、SASA2018（福井県学力調査）について

<全国学力調査>

全国の中学3年生全員が、毎年、同日の同時間に取り組みます。今回は、「国語」「数学」「理科」の3教科と、生活習慣や学習への興味や取り組み方などについての「質問用紙」による調査が実施されました。「国語」「数学」「理科」の3教科は、主として知識を問うA問題と、主として活用力が試されるB問題の2つの側面から出題されています。また、過去数年実施された同調査から見えてきた課題を踏まえた問題や国際調査（PISA や TIMSS）と関連した問題も盛り込まれています。

本校生徒は、どの教科についても成績良好であり、国語A・B、数学A・B、理科のすべてにおいて全国及び福井県平均を上回っており、中には全国平均を20ポイント上回るものもあります。

<SASA2018>

SASA2018(Student Academic Skills Assessment の略)は福井県の全2年生が対象となる学力調査です。生徒の学習達成状況および学習と生活に関する意識や実態を把握し、結果を分析することで課題を明らかにし、学力向上をねらっています。「国語」「社会」「数学」「理科」「英語」の5教科と「質問紙」があります。教科に関する問題は、基礎的な知識・技能や活用力をはかる問題（A・B問題）の他に、社会で直接生かせるような総合的な学力をはかる問題（Cチャレンジ問題）で構成されています。

本校生徒は、すべての教科で県平均を上回りました。特に英語が得意な生徒が多い（県平均の+14.9点）ことが分かりました。生徒の力をさらに伸ばすため、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善を家庭や地域と連携しながら推進していきます。

栄光の記録

3月10日 福井市剣道選手権大会

個人戦中学男子の部で、2位と3位に一人ずつ入賞しました。